

消防だより



虹のマーチ

2008.2
第9号

川越地区消防組合



消防緊急指令システムが新しくなりました

新しい消防緊急指令システムが、平成二十年二月一日から運用を開始しました。

この消防緊急指令システムは、最先端の通信技術を駆使したシステムです。あらかじめ設定したプログラムに基づき、出場車両（出場隊）を編成するなど、119番通報受け付けから災害種別に応じた出動指令までを自動化しました。また、GPSにより、消防自動車や救急車の現在地点をリアルタイムで把握することができます。

従来の消防緊急指令システムと比べて、より迅速かつ的確な通信指令業務が可能になりました。しかし、一刻も早く災害現場に駆け付けるためには、正確な通報が何よりも大切です。119番通報をするときは、次の点に注意し、消防職員の問いに、落着いて答えてください。

◎消防職員の「問い」は次のとおりです

- ・ 火事ですか？ 救急ですか？
- ・ 住所はどこですか？
- ・ 氏名と電話番号をお知らせください
- ・ 何が燃えていますか？（火事の場合）、どのような容態ですか？（救急の場合）
- ・ 近くに目標となる建物などがありますか？（学校・ビル・店舗・交差点名など）

◎携帯電話での通報の場合、川越地区消防局の管轄境からの通報は隣接する消防本部が受信することがあります

そのときは、受信した消防本部から川越地区消防局に転送しますので、そのまま切らずにお待ちください

◎火事・救急のいずれの場合も、ご自身の安全を確認してから通報してください

◎ファクスでの通報の場合、119番で送信できないときは、225-0119に送信してください

*ファクス用の緊急通報カードは、最寄りの消防署・消防分署に置いてあります

問い合わせ

消防局指揮統制課 TEL 222-0700

春季全国火災予防運動 3月1日(土)～7日(金)

今、住宅用火災警報器が設置されていない住宅も

五月三十一日(土)までに設置する必要があります



平成十八年中の住宅火災による死者の63・9パーセントが「逃げ遅れ」によるものです。また死者が発生した火災を時間帯別にみると、午後十時から午前六時までの就寝時間帯における死者が45・1パーセントを占めています。

火災が発生したとき、目で煙や炎を見たり、鼻で焦げくさいにおいを感じたり、耳でばちばちという音を聞いたりすると五感によって気づくことがほとんどです。しかし、それだけでは、就寝中や仕切られた部屋の中にいるときなどには、火災に気づくのが遅れてしまいます。そこで住宅での火災の発生をいち早く感知し、警報音で知らせるのが住宅用火災警報器です。

「逃げ遅れ」を防ぐことを目的として消防法が改正され、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

新築住宅は、平成十八年六月一日からすでに義務化されています。
既存住宅は、二年間の猶予期間の過ぎる六月一日から義務化となります。それまでに設置しましょう。

住宅用火災警報器が火災からあなたの命を守ります

幼年消防クラブ絵画展を開催します



昨年の絵画展の様子

春季全国火災予防運動の実施に伴い、当組合管内の幼年消防クラブによる絵画展を開催します。

園児たちの描く個性あふれた消防自動車などの展示や、住宅用火災警報器の展示説明も行います。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時…3月1日(土)・2日(日)、午前10時
30分～午後4時30分

会場…アトレ6階
コミュニティルームA

よくある質問



Q 設置場所は？

A 寝室および階段です。
*階段は二階に寝室がある場合です。

Q 取り付け方法は？

A 電池式のもの、ビスなどで簡単に取り付けられます。

Q 購入場所は？

A ホームセンターや家電販売店、防災機器取扱店などで購入できます。

Q いくらぐらいするの？

A 価格はメーカー、機能などで異なります。一個四千円から一万円くらいです。

問い合わせ 消防局予防課

TEL 222-10744

第二十二回自衛消防隊消防操法競技大会



競技の様子（屋内消火栓女子の部）

昨年十月二十四日、川越水上公園で第二十二回自衛消防隊消防操法競技大会が、川越地区消防局と川越地区危険物安全協会の共催で開催されました。

自衛消防隊とは、店舗や工場などの事業所で災害が発生したときに初期消火活動などを行う従業員の皆さんたちで構成された組織です。

この競技大会には組合管内の二十四事業所が参加し、それぞれの自衛消防隊が屋内または屋外消火栓を使用し、火元に見立てた標的を放水で倒すまでの所要時間と各隊員が操作要領について、迅速さ・行動の正確さなどを競い合いました。

大会に向けて日々訓練を重ねることにより、万一に備え「自分たちの職場は自分たちが守る」という自信につながる大会でした。

表彰

〈屋内消火栓男子の部〉

優勝 川越プリンスホテル

準優勝 武州ガス(株)

第三位 東洋インキ製造(株)

第四位 埼玉製造所

和光純薬工業(株)

東京工場

第五位 川越市役所

第六位 鈴茂器工(株)

〈屋内消火栓女子の部〉

優勝 武州ガス(株)

準優勝 (株)丸広百貨店川越店

第三位 川越市役所

〈屋外消火栓の部〉

優勝 本田金属技術(株)

準優勝 東洋インキ製造(株)

第三位 埼玉製造所

東洋エアゾール工業(株)

川越工場

〈二〇〇回連続出場表彰〉

和光純薬工業(株)東京工場

〈一〇〇回連続出場表彰〉

日油技研工業(株)・(株)ちふれ化粧品・

トーチクハム(株)・川島町役場・

東日本旅客鉄道(株)川越車両センター

・本田金属技術(株) (順不同)

消防署の施設を見学してみませんか



「ほくも消防士になれるかなあ」

川越地区消防組合の各消防署では、署内の施設を見学することができます。

小さな子どもからお年寄りを対象に、施設の見学はもちろんのこと、はしご車に乗ったり、消防車の運転席に座ったり、訓練用の水消火器で消火訓練をしたりと、いろいろな体験をすることができます。

(体験内容は消防署によって異なります。)

問い合わせ

- 川越北消防署消防課 TEL 226-7290
- 川越中央消防署消防課 TEL 242-2365
- 川越西消防署消防課 TEL 231-2066
- 川島消防署消防課 TEL 297-1891

緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に参加



有毒ガス発生事故対応訓練の様子

昨年十月二十日・二十一日、群馬県前橋市で「平成十九年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練」が行われ、当組合からは、救助隊及び後方支援隊が訓練参加し、本番さながらの緊張感の中、各種訓練を実施しました。

この訓練は、大規模地震などの発生を想定し、毎年実施されています。今年度は、群馬県前橋市付近を震源とする直下型地震が発生したとの想定で、関東ブロック(一都九県)の消防機関のほか、自衛隊や警察などの関係機関が参加して行われました。

*緊急消防援助隊とは、地震等の大規模災害が発生し被害が甚大で、災害発生場所を管轄する市町村や県の消防機関の消防力では対処困難な場合に、都道府県知事または消防庁長官の要請に基づき出場する隊のことをいいます。

例えば、埼玉県内で大規模災害が発生した場合には、関東ブロックの消防機関のほか、秋田県や岩手県などの東北ブロックの消防機関などから、多数の消防部隊が出場してくることになります。災害の規模によっては、一千隊を超える消防部隊が埼玉県内に集結し、活動することになります。

2007年度全国統一防火標語「火は見てる あなたが離れる その時を」

平成十八年度決算

【負担金】
消防行政を運営するうえで必要な主な財源は、組合を構成する川越市と川島町からの負担金です。

組合債

(消防施設等の整備にかかる借入金)
115,600,000円 (2.6%)

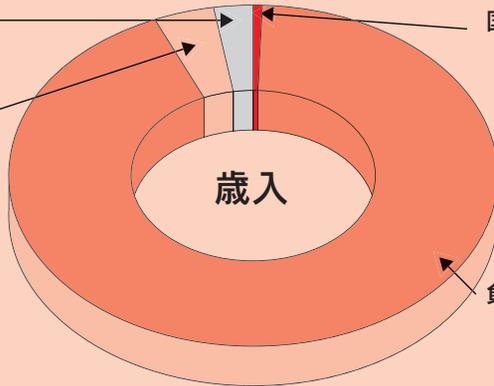
繰越金 (前年度からの繰越金)
141,002,480円 (3.2%)

諸収入 (受託収入等)
31,251,164円 (0.7%)

使用料および手数料
(消防関係検査等の手数料)
5,585,212円 (0.1%)

財産収入 (基金運用の利子等)
945,081円 (0.0%)

公債費 (長期債の元金および利子)
199,499,614円 (4.5%)

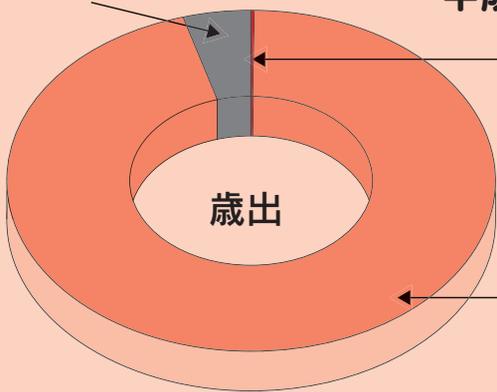


国庫支出金 (国からの補助金)
25,014,000円 (0.6%)

負担金 (構成市町からの負担金)
4,154,942,043円 (92.9%)

歳入 44億7,433万9,980円

平成18年度決算額



議会費 (議員報酬等の議会運営費)
4,993,732円 (0.1%)

総務費 (特別職・公平委員・監査委員の報酬等の経費)
3,218,170円 (0.1%)

消防費 (常備消防・救急等に必要経費、消防施設の建設費など)
4,217,491,783円 (95.3%)

歳出 44億2,520万3,299円

※比率(%)の合計は端数処理の関係で必ずしも100%にはなりません。

消火協力・救急協力ありがとうございました

- 次の消火協力や救急協力に対して、消防局長から感謝状を贈りました。
- ◎ 昨年九月三日、川越市霞ヶ関北二丁目地内で発生した建物火災において、近所の方々が一丸となり、消火協力に貢献されました。
 - ・川越市霞ヶ関北二丁目 下平明男さん ・同 鈴木清公さん
 - ・同 富澤正介さん ・同 金子貴司さん
 - ◎ 昨年九月七日、川越市菅間地内で発生した建物火災において、浜屋ガラス(株)の社員が一丸となり、消火協力に貢献されました。
 - ・川越市砂新田 中野崇史さん ・川島町上伊草 東條太郎さん
 - ・同今成一丁目 千葉進さん ・さいたま市 鈴木孝昭さん
 - ◎ 昨年九月十二日、川越市下赤坂地内で発生した建物火災において、消火協力に貢献されました。
 - ・川越市下赤坂 瀬谷三男さん
 - ◎ 昨年九月二十三日、川越市古谷本郷地内の入間川で、水面に浮いている女性を発見し、いち早く救助し、救急協力に貢献されました。
 - ・さいたま市 矢野治さん ・同 田中光男さん
 - ・同 吉野孝一さん
 - ◎ 昨年九月二十八日、川越市大仙波地内で農作業中に倒れた知人に心臓マッサージを施し救命され、救急協力に貢献されました。
 - ・川越市砂 高橋庄一郎さん
 - ◎ 昨年十一月八日、川島町出丸下郷の株式会社レインポータースクール桶川事業所訓練場で、オートバイの技能講習中に倒れた受講生に、社員が一丸となり、AED(自動体外式除細動器)を使用して救命処置を施し救命され、救急協力に貢献されました。
 - ・株式会社レインポータースクール桶川事業所 交通教育センターレインポーター埼玉 様
- 消防隊や救急隊が現場に到着するまでの間、管内在住・在勤の皆さんの勇気ある行動により、火災を最小限度に抑えることができ、また、尊い命を救うことができました。
- 問い合わせ 消防局総務課 TEL 222-0741
- 川越地区消防組合では、AEDの使用方法を含めた心肺蘇生法の救命講習会を実施しています。
- 川越市・川島町の自治会や事業所などを対象とした団体講習会についても、随時受け付けています。
- また、AEDを設置している、もしくは設置予定のある事業所などがありましたら、消防局救急課までご連絡ください。
- 問い合わせ 消防局救急課 TEL 222-0160

消防だより

虹のマーチ

2008.2
第9号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町48-4 TEL 049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

消防テレホンサービス/TEL 223-0700

*かけまちがいにご注意ください。

火事・救急・救助は119番